

各位

会社名 株式会社小僧寿し
 代表者名 代表取締役社長 小林 剛
 (JASDAQコード: 9973)
 問合せ先 経営企画部室長 毛利 謙久
 (TEL. 03-4586-1122)

第6回、第7回、第8回、及び第10回新株予約権の発行により
 調達した資金の充当状況に関するお知らせ

当社は、2019年9月27日にEVO FUNDを割当先として発行致しました「株式会社小僧寿し 第6回新株予約権により調達した資金の使途について、2020年3月18日付「第6回新株予約権の発行により調達した資金の使途変更に関するお知らせ」、2020年4月20日付「第6回新株予約権の発行により調達した資金の使途変更に関するお知らせ」にて、2019年10月から2020年3月の期間における資金使途の変更を致しましたが、現時点における資金の充当状況に関してお知らせすると共に、2020年4月22日付「第三者割当により発行される第7回及び第8回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の第三者割当契約（第7回新株予約権につきコミット・イシュー※）の締結に関するお知らせ」及び2020年8月14日付「第三者割当により発行される第10回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の第三者割当契約の締結に関するお知らせ」にてお知らせした資金使途について、現時点における資金の充当状況に関してお知らせ致します。

1. 第6回新株予約権の発行により調達した資金の充当状況に関して

当社は、2020年4月20日付「第6回新株予約権の発行により調達した資金の使途変更に関するお知らせ」にて、第6回新株予約権の発行により調達した資金の使途に関しまして、下記のとおり変更致しました。

第6回新株予約権の発行により調達した資金の変更後の資金使途

具体的な使途	変更後の資金使途 (百万円)	2020年4月20日時点 における充当額 (百万円)	当初予定の 支出時期	2020年4月20 日時点における 支出時期
①有利子負債の圧縮を目的とした借入金 の返済	170	170	2019年10月～ 12月	2019年10月
②持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶 月」の複合ブランド併設費用	70	19	2019年10月～ 2021年4月	2019年10月～ 12月
③複合型宅配事業店舗の新規出店費用	19	11	2019年10月～ 2021年4月	2019年10月
④店舗機能増設、インフラ整備のため の設備投資資金	7	3	2019年11月～ 2021年12月	2019年10月～ 2021年12月
⑤運転資金への充当 (2020年10月～12月)	194	194	—	2019年10月～ 12月
⑥運転資金への充当 (2020年1月～3月)	112	112	—	2020年1月～ 3月
資金使途額 合計	572	—	—	2019年10月
2020年4月20日時点における 充当額合計	—	509	—	—

上記資金使途の変更に伴い、2020年4月20日時点における未充当残高は63百万円となっております。当該

未充当残高における、現時点の充当状況及びその支出時期については下記となります。

第6回新株予約権の発行により調達した資金の変更後の資金使途の現時点における充当状況及び支出時期

具体的な使途	未充当残額の 資金使途 (百万円)	2021年11月18日時 点における充当額 (百万円)	当初予定の 支出時期	実際の 支出時期
①持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶月」の複合ブランド併設費用	51	51	2019年10月～ 2021年4月	2020年4月～ 2020年8月
②複合型宅配事業店舗の新規出店費用	8	8	2019年10月～ 2021年4月	2020年5月
③店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金	4	4	2019年11月～ 2021年12月	2020年6月
資金使途額 合計	63	63	—	—

上記に記載するとおり、①持ち帰り寿し店「小僧寿し」「茶月」の複合ブランド併設費用 に関しましては、2020年4月～8月に51百万円を充当し、②複合型宅配事業店舗の新規出店費用 に関しましては、2020年5月に8百万円を充当し、③店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金 に関しましては、2020年6月に4百万円を充当しております。この結果、①～③において、総額63百万円を充当し、第6回新株予約権の発行により調達した資金の未充当残高はゼロとなっております。

2. 第7回及び第8回新株予約権の発行により調達した資金の充当状況

第7回及び第8回新株予約権の発行により調達した資金については、当初予定通りに充当し、未充当残高はゼロとなっております。なお、各充当状況に関しましては、下記に記載するとおりです。

第7回及び第8回新株予約権の発行により調達した資金の現時点における充当状況及び支出時期

具体的な使途	資金使途 (百万円)	2021年11月18日時 点における充当額(百万 円)	当初予定の 支出時期	支出時期
①店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金	※ 114	114	2020年5月～ 2021年12月	2020年5月～ 2020年9月
②複合型宅配事業店舗の新規出店費用	127	127	2020年5月～ 2021年4月	2020年5月～ 2021年4月
資金使途額 合計	241	241	—	—

※ 第7回及び第8回新株予約権の行使により、当初予定の調達金額を39百万円超過したため、①店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金に充当致しました。なお、①店舗機能増設、インフラ整備のための設備投資資金に関しまして、当初予定していた資金使途額は75百万円であります。

3. 第10回新株予約権の発行により調達した資金の充当状況

1) 現時点における資金の充当状況について

第10回新株予約権の発行により調達した資金については、当初予定通りに充当を行っており、現時点における未充当残高は48百万円となり、当初予定通りに資金を充当する予定であります。なお、充当状況に関しましては、下記に記載するとおりです。

第10回新株予約権の発行により調達した資金の現時点における充当状況及び支出時期

具体的な使途	資金使途 (百万円)	2021年11月18日時 点における充当額 (百万円)	当初予定の 支出時期	支出時期
複合型宅配事業店舗の新設開設 (2021年1月以降)	195 (※116)	68	2021年1月～12月	2021年4月～ 2021年10月
資金使途額 合計	195 (※116)	68	—	—

※ 第10回新株予約権の行使完了に伴い調達した資金の総額から、発行諸費用を控除した額

2) 資金の調達差額である79百万円の調達検討及び資金使途について

当社は、第10回新株予約権の発行により、120百万円の資金を調達致しました。しかしながら、第10回新株予約権の発行により当初予定しておりました資金調達額は199百万円であり、79百万円の差額が生じております。このため、「複合型宅配事業店舗の新設開設」費用として、当初予定から79百万円の不足が生じておりますので、新たな資本政策を含めた資金調達の検討を進め、当初予定の通りに「複合型宅配事業店舗の新設開設」を推進する予定です。

以上